

複写連HP URL
fukusyaren.or.jp/
 401k HP URL
fukusya401k.jp

複写連だより

日本複写産業協同組合連合会
 〒105-0011東京都芝公園1-7-8
 ITビル4階 電話03(5402)6167
 FAX03(5402)1088
 e-mail: info@fukusyaren.or.jp
 URL <http://www.fukusyaren.or.jp/>
 発行責任者 森下修至

会長の独り言

早いもので、複写連便りを発刊してから60号目となりました。前回の日本複写産業協同組合連合会東京大会を機に平成24年10月19日に第1号を発刊し、いつまで続けられるかわからない中で第60号にまでなりました。

その東京大会では、複写連青年部の解散が発議された大きなターニングポイントとなったことも記憶に新しいところです。

そして、大きく変容する業態は複写業にたざざる多くの皆様に業務の変化やお客様との関わりにも大きな影響を与えています。

複写連の組織改革も、本年3月には複写連組織発足の核となって全国の業界に呼びかけを行い、永く会長職の人材を提供されていた関東の組合が、組合運営の経済的逼迫を理由に脱退したことで頓挫するかに思えましたがこの大きな痛手を乗り越え、皆様のご協力で新生複写連をめざし改革が進行しています。

残された組合にとっては大きな痛手でありましたが、複写組合から新業態組合への移行への大きな分岐点ともなる事件でした。

なぜ財政が逼迫してきたかの理由や検証を行わない限り、全国の組合がやがてどのような職種においてもその運営がおぼつかなくなるようになります。

組合としての価値の創造

と組合の中でのリーダーの役割は重要となります。

介在する中央会そのものも組織維持に懸命であります。規制緩和という風潮の中でその役割の希薄化が問われています。

従って、中央会とは別の次元で組合独自の延命策と価値の継続について考えなければならぬ時です。

地域の組合の存在感をどのように示していくかはそのリーダーの考え方に係っているとと言っても過言ではなく、近畿複写産業(協)が実施した組合員各社への訪問なども組合員との交流を深め、また互いの持つ問題点の発掘などにも役立つ貴重なヒントです。同業として今後どうしたらよいのか意見交換していく必要があります。

複写連は、組合経営とその存続の困難さも理解しているつもりですが、各地域での過大な価格競争により、同業者同士の不信感の増長、組合への価値観の相違は組合から距離を置くながれとなり全国に蔓延しております。

しかし、青写真業からの脱皮という一大事業を成し遂げるためにはこのような過程を経ることも大切なことだと考えています。

「去るものは追わず」、新しい事業形態への移行とそれに伴う様々な努力へ賛同していただければ方々が再結集することでPODという新しい商品形態とサービス形態への変化が生まれるものと確信しているところで

前号でお知らせいたしましたように、複写連パートナーズキャンペーンにおいて既に3社の新しいお仲間が増えました。さらに複写連の新しい市場創成への取り組みに賛同を戴き多くの同業者がご参画戴ける事を心待ちにしているところで

自社の所属組合が複写連に加入していない場合でも「複写連パートナーズ」に加入し、全国の方々と情報交換に参加することは自由です。

また、組合がない地域の方々が個社で参加することで全国の皆様と交流可能なこの制度は大変有意義な情報収集の場となることは間違いありません。是非皆様の御参加をお待ちしております。

話は変わりますが、それぞれの会社では既に価格競争での業務遂行は難しいというところまで極まっていることと推察しています。商品の価値を高めるお客様への提案をどのような形で表現するかが今後の大きなテーマです。

「情報セキュリティ」というテーマもあり、お客様との信頼関係を構築する上で大きなツールとなります。情報化社会における機密の漏えいというリスクを回避するため、どのように自社が努力しているお客様への提案の中で盛り込むかは信頼への必須条件です。

多くの皆様がその取得に前向きであると思えますし、実際に取得企業が増加しています。

複写連では多少なりとも取得経費・維持経費の節減に取り組める施策を提供でき場と考えています。

グループで制度構築による取得費用の節減、同一審査機関における審査による審査費用や維持費の軽減化、更には「プライバシーマーク」から「情報セキュリティシステム」への移行などの情報提供も含め、今後もその情報収集に努めていく所存です。

これも別のお話ですが、物価資料誌や印刷料金誌においては、印刷とは一線を隔てたプリント・オン・デマンドの価格体系の考え方について検討しており、複写連からはそれに対する資料の提供を行っております。

11月には当該一般法人からの抽出アンケートが送付されるとのお話もあり、いよいよPODが市場に対し産声を上げる時期が到来したと考えています。

5月に発刊した「プリント・オン・デマンド・ガイドブック」は好評のうちに複写連及び、各地域組合における在庫も少量となってきたというお話もあり、メーカー各社も社員研修に使い始めているとのこと。

また一部メーカーにおかれましては、PODという新市場の醸成のため、メーカー版PODガイドブックを作成頒布するという計画もあるとのこと、多方面からの顧客教育ツールへの提供を行うことで市場の拡大に向けて取り組みが本格化する形勢となって参りました。

業界もこぞってこのよう

日本複写産業協同組合連合会

第26回 東海大会 開催！！

全国の同業の皆様 是非ご参加下さい

な取り組みを真摯に受け止め、お客様への提案活動を進め、メーカー業界が一丸となり新しい市場づくりとお客様との情報共有により、お客様が実施するPOD業務の延長線上に業務の展開の軸を置くことに努力していくべきだと考えています。

10月の福岡会議では九州エリア選出の理事の方々のほか、10社近い業界人との懇談も予定されています。

これを機に業態の移行問題や組織の再結集の議論が進めば業界にも団結という大きなテーマが生まれる予感も致します。

11月7日(金)に開催予定の日本複写産業協同組合連合会主催東海大会では、このヒントを見出すような意見が飛び交うことを期待しています。

メーカー最新情報

賛助会員各社の最新情報をお知らせします

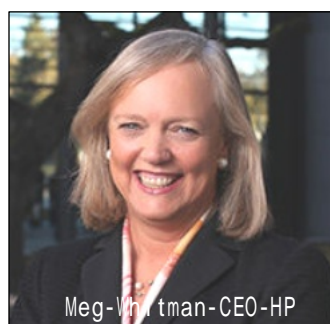
日本HP社が賛助会員に加入!

日本HP社が当月新賛助会員として入会されました。同社製品は多くの連合会所属会社においても設置されています。今後新市場の創成に向け一緒に歩んでいきたいと考えています。日本HP社の紹介:(注記:同社HPより抜粋しました)

“更なる貢献に向け、一貫したリーダーシップと



日本ヒューレット・パカード(株)社屋



Meg Whitman-CEO-HP

重点

志向に基づく実践、優れた製品とサービスの提供に取り組んでいます。

現在私たちは、HPの経営強化を目指し複数年にわたる取り組みを行っています。そしてさらなる発展に向けた計画も整備しました。私たちには、進むべき道が見えています。今、目標に向かって、着実な進歩を遂げているところです。

クラウド、セキュリティ、ビッグデータといった中核的な領域の市場においては、引き続き製品のイノベーションを推進していきます。

私たちが持つ卓越した資産と強みを合わせることで、大きなチャンスが生まれます。成果ある継続的な取り組みに向け、人材、実施計画、そして経営基盤を万全な状態に整えていきます。”

メグ・ホイットマン
Meg Whitman、
HP社長兼CEO

日本HP 会社概要

社名 日本ヒューレット・パカード株式会社
(略称:日本HP)(英語名:Hewlett-Packard Japan, Ltd.)、設立 1999年(平成11年)7月、社長執行役員 Jim Merritt(ジム・メリット)、資本金 100億円、売上高 3,646億円(2013年10月期)、事業 コンピューター、コンピューター周辺機器、ソフトウェア製品の開発・製造・輸入・販売・リース、ITサービス、本社 東京都江東区大島2丁目2番1号、セールス/サポート拠点 全国24ヶ所、社員数 5,000名(2013年4月現在)

日本HP、大判プリンターのラインアップ拡充

- ハイエンドグラフィックス向けプリンターを対象に、新たな保守サービスを提供開始 -

2014年6月11日

日本ヒューレット・パカード株式会社

日本ヒューレット・パカード株式会社(略称:日本HP、本社:東京都江東区、社長執行役員:ジム・メリット)は、サインディスプレ

イ向け大判プリンター「HP Latexシリーズ」、グラフィックス向け大判プリンター「HP Designjet Zシリーズ」、およびテクニカル向け大判プリンター「HP Designjet Tシリーズ」の新製品を発表します。また、ハイエンドグラフィックス向けプリンターを対象に、対応日時やサービス内容を拡充した新たな保守サービス「HPハイパリュウグラフィックスサポート」を提供開始します。

合わせて、グラフィックス向け大判プリンター「HP Designjet Z5400 PS ePrinter」本体と、「HP Designjetシリーズ」の保守サービスの価格改定を行います。

【新製品一覧】

- ・ サインディスプレイ向け大判プリンター: HP Latex 310 プリンター / HP Latex 330 プリンター / HP Latex 360 プリンター
- ・ グラフィックス向け大判プリンター: HP Designjet Z6600 / HP Designjet Z6800
- ・ テクニカル向け大判プリンター: HP Designjet T7200 / HP Designjet T795 ePrinter

新製品の主な特長は以下の



HP Designjet Z6600



HP Designjet Z6800



HP Designjet T7200



HP Designjet T795 ePrinter

通りです。

サインディスプレイ向け大判プリンター

「HP Latexプリンティングテクノロジー」は、2008年に発表して以来、全世界で19,000台以上の販売台数を誇り(*1)、大判プリンターの新たなカテゴリを確立しました。第3世代の水溶性「HP Latexインク」を搭載した「Latex 300シリーズ」は、乾燥工程をより効率化し、従来に比べ低温で高速プリントが可能となることで、短納期を実現します。また、優れた耐久性とプリント品質はそのままに、熱に弱い素材など対応する素材が広がり、屋内外のサイングラフィックスやインテリア市場向けなど多彩なアプリケーションに対応可能となります。

新製品「Latex 300シリーズ」は、本体価格、プリントサイズ、生産レベルに

じて3モデルを提供することで、小規模のサイン業者から大規模の出力センターまで幅広いニーズに対応します。

第3世代「HP Latexプリンティングテクノロジー」により、擦過性、素材対応力、生産性を大幅に向上

「Latex 300シリーズ」に搭載した第3世代「HP Latexプリンティングテクノロジー」は、新「HP 831 Latex インク」、「HP Latex オプティマイザー」を採用し、塩ビ粘着フィルムや塩ビバナーなどへのプリントにおいて、ハードソルベント(溶剤)インクと同等の擦過性(*2)を備えるとともに、新型の「HP Latex 831プリントヘッド」により、優れた生産性とプリント品質、安定した色の一貫性を両立します。さらに、「HP Latexインク」は無臭のため(*3)、より健康的な作業環境(*4)を実現します。また、完全に乾燥した状態でプリントされるため、出力後即時に加工や納品、施工が可能です。

製品名 希望小売価格(税抜) 販売開始日

HP Latex 310 プリンター
1,780,000円 6月12日

HP Latex 330 プリンター
2,480,000円 6月12日

HP Latex 360 プリンター
2,980,000円 6月12日

■「HP Latex 310 プリンター」:

最大54インチ(1,371mm)幅に対応するエントリーモデル「HP Latex 310 プリンター」は、素材の取り付けやインク交換など全ての作業を前面で行えるため、スペースを最大限に活用できます。また、RIPソフトウェア「SAi Flexi Print HP Edition」を標準搭載します。

■「HP Latex 330 プリンター」:
最大64インチ(1,625mm)幅に対応する「HP Latex 330 プリンター」は、より大判で重量のあるロール紙への対応、屋外品質24.8平米/時、屋内品質12.4平米/時のプリントスピードなどにより、アプリケーションの汎用性を高めます。さらに、RIPソフトウェア「SAi Flexi Print HP Edition」も標準搭載しています。

■「HP Latex 360 プリンター」:
最大64インチ(1,625mm)幅に対応するハイエンドモデル「HP Latex 360 プリンター」は、屋外品質31.1平米/時、屋内品質17.1平米/時のプリントスピードを実現します。さらに、メッシュ素材やライナーのないテキスタイルへのプリントを可能にする「インクコレクター」を搭載することで幅広い素材に対応します(*5)。両面プリントも可能なため、高付加価値アプリケーションにも対応可能です。

グラフィックス向け大判プリンター

新製品「Z6600」と「Z6800」は、従来の「HP Designjet Zシリーズ」と比べてプリントスピードが最大50%向上し、生産性の強化に貢献します(*6)。さらに、高い品質が求められる屋内用途や美術品向けに、出力物は最長200年の耐久性を備えます(*7)。

また、グラフィックス向け大判プリンターで初めてダブルロール機能を搭載し、6色インクシステムやRIPをハードウェアに標準搭載する「HP Designjet Z5400 PS ePrinter」について、6月12日付けで価格改定を行います。

製品名 希望小売価格(税抜) 販売開始日

HP Designjet Z6600 1,678,000円 6月12日

HP Designjet Z6800 2,178,000円 6月12日

【価格改定】

製品名 旧価格 新希望小売価格(税抜)、HP Designjet Z5400 PS ePrinter オープン価格 548,000円

■「HP Designjet Z6600」:
「Z6600」は、高生産性のポスターやPOP向けのプロダクションプリンターで、インクの使用量を従来比最大30%減らすことができるなど(*8)、6色インクシステムによる最適なインク構成により、時間とコストを削減しながら効率的なプリントが可能です。

■「HP Designjet Z6800」:
「Z6800」は、写真品質と高速プリントを両立したフォトプロダクションプリンターです。高速かつ高品質のプリントを実現するために、内蔵分光測光器(*9)などの先進的なカラーマネジメント機能の搭載に加え、「HPクロムレッド」を含む8色インクシステムを採用し幅広い色域を再現します。また、お客様のニーズに合わせ、厚手コート紙、フィルム系、キャンバス系などの特殊素材でプリント速度を最大25%高速化し、生産性を向上しました。

テクニカル向け大判プリンター

日本HPは、ハイボリュームのプロダクションプリントのニーズに対応した新製品とソフトウェアを提供開始します。これらのソリューションは、CADやGIS、企業内印刷部門、デザイン事務所、小中規模のリプログラフィック事務所などの幅広いプリントニーズに対応します。

製品名 希望小売価格(税抜) 販売開始日

HP Designjet T7200 1,440,000円 6月12日

HP Designjet T795 ePrinter 428,000円 6月12日

■「HP Designjet T7200」
「T7200」は、B0サイズに対応するCAD、GIS向け高速大判プリンターで、標準で2本のロール紙に対応し、オプションで最大3本のロール紙を搭載できます。また、カラー、モノクロ共に普通紙から光沢フォト用紙まで幅広いメディアに対応し、モノクロの電子写真方式広幅プリンターと比較して低コストで運用することが可能です(*10)。

■「HP Designjet T795 ePrinter」

「T795」は、CAD向けの大判プリンター「HP Designjet T790 44inch ePrinter」の後継機です。ネットワーク機能をFast Ethernet(100BASE-T)からGigabit Ethernet(1000BASE-T)に強化し、大容量データにも余裕のある転送速度を確保します。

■「HP Designjet SmartStream」ソフトウェア

「HP Designjet SmartStream」は、印刷のワークフロー全体を合理化するソフトウェアです。本ソフトウェアに搭載の「HP Crystal Preview technology」により、高精細なプリントプレビューを可能にするとともに、「プリフライト機能」により、用紙サイズや印刷方向などのエラーを自動検知し、ワンクリックで自動修正が行えます。これにより、複数ページの印刷ジョブの準備の時間を約50%削減することが可能(*11)となり、要求が高いプリント環境において、効率的に印刷の管理を行えます。本ソフトウェアは、「HP Designjet T7000シリーズ」に

オプションで対応します。

保守サービス

新製品「HP Latex 300シリーズ」や「HP Designjet Z6000シリーズ」などのハイエンドグラフィックス製品向けに、「HPハイパリュウグラフィックスサポート」を提供開始します。

本サービスは、専用のコールセンターを設置し、高い技術を持つ専任エンジニアがトラブル時の受付から問い合わせ相談、不具合対応まで、一貫したワンストップサポートを提供します(*12)。平日の受付時間の大幅拡張に加え、土日祝日の受付に対応するなど、今まで以上に付加価値の高い保守サービスを提供し、ユーザーが安心して利用できるサポート環境を実現します。新製品は本体発売開始日より、その他の対象製品は7月1日より提供を開始します。「HPハイパリュウグラフィックスサポート」に関する詳細な情報は、以下のURLを参照してください。 <http://www.hp.com/jp/dj-newsupport>

合わせて、既存の「HP Designjetシリーズ」の保守サービスの価格改定を行います。保守サービスの価格改定に関する情報は、以下のURLを参照してください。

<http://www.hp.com/jp/DJ-Carepacknew>

*1: 出典: 2014年度第1四半期のHPの発表。

*2: HP Image Permanence Labによる予想値。擦過耐性の比較は、「HP Latex インク」と代表的なハードソルベントインクのテストに基づくものです。屋外での性能テストは、「HP Latex インク」を使用して、SAE J2527に従ってHP純正素材を含むさまざまな素材で実施。テストは、直射日光や雨、高温や低温といったさ

さまざまな環境を再現した屋外ディスプレイ環境で 垂直方向に掲示し実施。環境条件により結果が異なる場合があります。ラミネート加工の性能テストは、「HP Clear Gloss Cast Overlaminate」を使用。特定の素材の性能によって結果が異なる場合があります。

*3: 一部の素材では、特有の臭いが発生することがあります。

*4: HP Latex インクテクノロジーと2013年12月時点で市場をリードする競合製品との比較と、公表されているMSDS/SDSおよび社内評価の分析に基づきます。競合製品およびインクは、テクノロジーや配合によって特定の属性に関する性能が変わることがあります。米国OSHA(職業安全衛生法)の要件を満たす上で、特別な換気装置(空気を過)は不要です。各地域の要件・規制については、お客様にてご確認ください。「HP Latexインク」は、米国環境保護庁の311条(Method 311)により、2013年に有害大気汚染物質のテストを実施し、汚染物質は検出されませんでした。「HP Latexインク」は、ニッケルフリーとしてUL ECOLOGO認証を受けています。UL 2801に対するUL ECOLOGO認証は、健康や環境への配慮に関する厳格な基準を満たしていることを示しています。(ul.com/EL参照)

*5: 性能は素材によって異なります。詳細については、www.hp.com/go/mediasolutionslocatorを参照ください。最高の結果を得るためには、伸縮しないテキストスタイルをご使用ください。インクコレクターは、メッシュ素材へのプリント時に必要です。

*6: HP Designjet Z6100」との比較。(HP調べ)

*7: HP Image Permanence LabおよびWilhelm Imaging Research, Inc.が、HP製各種素材に対して直射日光の当たらない環境で行った、室内ディスプレイの耐久性評価。詳細については、www.hp.com/go/supplies/printpermanen

ceを参照ください。

*8: 「HP Designjet Z6100」との比較。(HP調べ。光沢素材を使用し、生産モードでプリントした場合。)

*9: X-Rite社製。

*10: プリント速度7 Arch Dページ/分までのローエンド電子写真方式広幅プリンターとの比較。

*11: 50ページの資料を複数台のプリンターでプリントした場合と、同等のソフトウェアを使った場合のテスト結果。(HP調べ)

*12: 訪問作業のご提供を保証するものではありません。

新製品、新サービスに関する情報は以下のURLを参照してください。

HP Latexプリンターについて: <http://www.hp.com/jp/latex>

HP Designjet プリンターについて: <http://www.hp.com/jp/designjet>

「Dow Jones Sustainability Indices」構成銘柄に採用

2014年9月25日
株式会社リコー

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司、以下リコー)は、昨年に引き続き、世界的に権威のある社会的責任投資(SRI)指標の一つ「Dow Jones Sustainability Indices」の中のDJSI Worldの構成銘柄に採用されました。

DJSIは米国のダウ・ジョーンズ社とスイスのSAM(Sustainable Asset Management)社が提示する株式指標で、経済・環境・社会の3つの側面から企業の持続可能性を評価するものです。今年は、世界の約2,500社がDJSI Worldの対象として調査され、319社が採用されました。うち日本企業はリコーを含む21社が組み込まれています。



RICOH Pro VC60000 (オプションを装着したもの)

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

画像 : Dow Jones Sustainability Indices

業界別では、「コンピューター/周辺機器/オフィス機器」セクターでリコーは、経済側面における「イノベーションマネジメント」、社会側面における「人材の採用と定着」の2項目で最も高い評価を得ました。

また、リコーは「Dow Jones Sustainability Indices」のアジア・パシフィック版である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」(DJSI Asia Pacific)にも同時に採用されました。

新・高速インクジェット・プリンティング・システムを市場投入

～ 基幹業務から商用ニーズまで対応し、印刷事業者の業務拡大に貢献～

2014年9月24日
株式会社リコー

株式会社リコー（社長執行役員：三浦善司）は、連続帳票用の高速フルカラーインクジェット・プリンティング・システムの新製品と

して「RICOH Pro VC60000」を発売します。

新製品は、2007年から販売している「InfoPrint 5000シリーズ」に加え、次世代機として発売するものです。従来機から、さらなる高画質と優れた用紙対応力を実現しており、一つのシステムで、請求書などの基幹業務印刷から、ダイレクトメールなど高画質・高品質が要求される商用印刷ニーズまで幅広く対応し、印刷事業者の業務拡大に貢献いたします。

リコーは、自社製品開発および外販事業を通じたプリントヘッドとインクの技術を有しており、新製品は長年にわたって培ってきたこれらの技術を採用することにより、1,200dpi×1,200dpi*1の高画質を実現しています。また、用紙表面に特殊処理を施すことにより、オフセットコート紙など非インクジェット専用紙への印刷が可能になります。

製品名 RICOH Pro VC60000
解像度 1,200dpi×1,200dpi*1、印刷速度 120m/分*2
標準価格 オープン価格
発売日 2015年春予定
*1 印刷速度は50m/分となります。
*2 解像度は600dpi×600dpiとなります。

リコーは2007年にプロダクションプリンティング市場に本格参入して以来、企業内における集中印刷や基幹業務印刷をはじめ、商用印刷分野におけるPOD（プリントオンデマンド）印刷など、市場のさまざまなニーズに対応する製品およびサービスを提供してまいりました。この度の新製品の投入により、さらに広範囲の領域をカバーし、新たなお客様のご要望に応じてまいります。

マネージド・プリント・サービス分野で4度目の「リーダー」を獲得

～ IDC MarketScape調査において～

2014年9月16日
株式会社リコー

株式会社リコー（社長執行役員：三浦善司）は、IT専門調査会社IDCが発行した最新の調査報告書「IDC MarketScape: Worldwide Managed Print and Document Services 2014 Hardcopy Vendor Assessment」Focus on Managed Workflow Services*1において、マネージド・プリント・サービス分野で世界的な「リーダー」として評価されました。

今回の調査では、業種業務に関わるビジネスプロセスの最適化提案や、コスト削減および生産性向上の提案、お客様やパートナー企業様からの高い満足度が評価されました。また、マネージド・プリント・サービス市場において、リコーが業界を大幅に上回る成長を遂げていることも評価されています。

「2014 IDC MarketScape」調査は、IDCアナリストであるTerry Frazier氏およびHolly Muscolino氏の共著によるもので、9月5日に発表されました。マネージド・プリント・サービス領域はもちろん、ビジネスプロセスの分析、再構築を支援し、継続的な改善までご提供する総合的なサービスを対象に評価しています。

「広範囲な調査を実施した結果、リコーは高い顧客満足度や顧客保持率、業界を上回る高い成長率、革新的なサービスの提供などが、多くの顧客から高く評価されていることが明らかになりました。リコーは、ビジネスプロセスの改善を支援する信頼のおけるパートナーとして確固たる地位を築いているものと評価しました。」と、IDCアナリストは述べています。

また、本調査報告書には、

「リコーはマネージド・ドキュメント・サービスを事業戦略の中核に位置づけ、顧客のワークフローを深く理解し、ビジネスプロセスの効率化や業務コストの削減を目的としたさまざまなサービスを包括して提供しています。」と記載されています。

リコーは、これからお客様の経営課題解決に向けたサービス提供をグローバルに展開し続け、変化するビジネス環境の中でサポートいたします。

本IDCの調査報告書に加え、リコーは以下の評価を頂いております。

・Quocirca “Managed Print Services (MPS) Landscape, 2014” *2 (グローバルマーケットリーダー)

・Gartner “Magic Quadrant for Managed Print Services Worldwide” *3 (Leaders Quadrant)

・Gartner “Competitive Landscape: Managed Print Services, Worldwide” *4 (トップ3社の1社)

IDC MarketScapeについて

IDC MarketScape は、特定市場におけるICTサプライヤーの競争力の適応度を把握できるベンダー分析モデルです。調査方法には、定量/定性的な基準に基づいた厳密な採点手法を用いています。調査結果は当該市場における各ベンダーの位置付けを示す、1つのグラフによって表されます。

*1. “IDC MarketScape: Worldwide Managed Print and Document Services 2014 Hardcopy Vendor Assessment ■ Focus on Managed Workflow Services.” Doc # 250631, September 2014.

*2. QUOCIRCA, Managed Print Services (MPS) Landscape, 2014, Louella Fernandes, Clive L

ongbottom, June 30, 2014

*3. Gartner, Inc., “Magic Quadrant for Managed Print Services, Worldwide”, Ken Weilerstein, Sharon McNee, Elizabeth Kim, October 21, 2013

*4. Gartner, Inc., “Competitive Landscape: Managed Print Services, Worldwide, 2013” Elizabeth Kim, Ken Weilerstein, October 21 2013

beatサービスにおける不具合についてのお詫び

2014年9月16日
富士ゼロックス㈱

このたび、弊社インターネットセキュリティサービス「beatサービス」の一部において、お客様先に設置された「beat-box」を経由して送信されたメールの一部が正しく送信されなかった不具合が発生いたしました。不具合の概要は下記のとおりですが、既に不具合の修正を完了しており、現在不具合は発生しておりません。

当該不具合が発生した可能性のある「beatサービス」のお客様には既に個別にご連絡の上で、対応を進めさせていただいております。

お客様をはじめ関係者の皆さまには、大変なご心配とご迷惑をおかけしていることを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止と品質向上に努めて参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

対象サービス 「beat/entry」および「beat/active」の一部

発生期間 2014年8月27日21時00分から2014年9月4日0時10分、発生数 230社でご利用いただいている262台

のbeat-box

不具合の概要 1.お客様が指定した宛先と異なる宛先にメールが送信される

2.本来の宛先にメールが届かない

対応措置 beat-boxのソフトウェア・モジュールの更新を実施したところ、9月2日にお客様より障害発生の報告を頂きました。開発部門による調査の結果、9月3日にその一部に不具合が含まれていることが判明したため、9月4日0時10分に不具合の修正を実施して障害復旧した上、対象のお客様にはご連絡をさせていただきました。

問い合わせ先 beatサービスのお客様はbeatコンタクトセンター、その他のお客様は富士ゼロックスお客様相談センターへお問い合わせください。

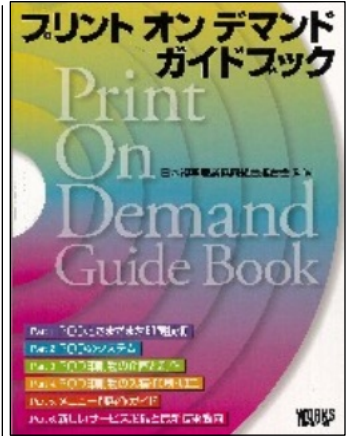
富士ゼロックスお客様相談センター、フリーダイヤル：0120-27-4100 土・日・祝日を除く、9:00～12:00、13:00～17:00

PODガイドブックの御案内

2014年5月に発刊した日本複写産業協同組合連合会監修『プリント・オン・デマンド・ガイドブック』は大変好評であり、所属員の皆様には最低一冊複写連から贈呈させていただきました。各社から複数のご注文も戴き、おかげさまで好評に頒布が進んでおります。

今回の出版にご協力いただいた各社におかれましては社員教育などに使用することで多数のお買い上げを戴いております。

従って既に日本複写産業協同組合連合会関係の在庫数もかなり僅少となってい



るところです。
一般の書店では在庫がなかったり取り寄せに時間がかかることもあるようですのでまだ未購入の方、さらに部数を必要とされる方はお早めに購入の申し込みをされることをお勧めいたします。第二版の発刊は今のところ未定でありますのでお知らせいたします。

所属員の動向

(異動は複写連事務局まで)

複写連行事予定

- 平成26年10月16日(木) 複写連九州エリア理事長会議、西日本イメージ情報有志意見交換会、於福岡市
- 平成26年10月17日(金) 複写401Kボード会議、於熊本市
- 平成26年11月7日(金) 日本複写産業協同組合連合会第26回全国大会東海大会、於名古屋市
- 平成26年12月5日(金) 11:00-17:00複写連総務委員会開催、於大阪府中央区
- 平成26年12月5日(金) 18:00、近畿複写産業協同組合忘年会、於兵庫県有馬グランドホテル
- 平成26年12月6日(土) 近畿複写産業協同組合忘年ゴルフコンパ、於有馬ダイワRC

参加申込書

〈申し込み用FAX番号〉 **052-961-0626**

●参加をご希望される場合は、下記申込書へ必要事項をご記入のうえ、**9月末日までに 上記FAX番号へ送信**いただきますようお願いいたします。

Form with fields for organization name, company name, address, and participant details (representative, companions, fees).

※振込手数料はご負担くださいませ。

〜切り取って上部をFAX送信〜

参加費用のお支払い方法

●上記の参加者分の合計登録料金を、下記振込先へお支払いください。

Table with bank information: 銀行名: 名古屋銀行, 支店名: 上前津支店, 口座番号: 3812066, etc.

※お支払いは、10月10日(金)までにお願致します。

日本複写産業協同組合連合会

第26回 東海大会

『私たちのリデザイン』



と き 2014年11月7日(金)
と ころ 名古屋国際ホテル

主催/日本複写産業協同組合連合会 ホスト/東海複写産業協同組合

4種制作色分け 日本複写産業協同組合連合会 会員の皆様 東海複写産業協同組合 会員の皆様
日本複写産業協同組合連合会 賛助会員の皆様 ご同業社の皆様

日本複写産業協同組合連合会 会員の皆様へ

日本複写産業協同組合連合会東海大会へのおまねき

今回、第26回日本複写産業協同組合連合会全国大会を東海複写産業協同組合がホストとして開催し、全国の皆様を名古屋でお迎えする事となりました。
2年前の東京大会から、日本複写産業協同組合連合会を取り巻く状況が大きく変わり、それに合わせて複写連の改革が始まっています。そして私たち複写業も、変らなければ周囲に取り残され消滅しかねない時代にどんな大会を開催するのか検討しましたが、難しいことは考えず、気軽に参加してもらえ大会を開催し、より多くの皆様がこの大会に集う事が大切であると結論しました。

日本のど真ん中の名古屋(理由付けは知らないですが毎年「にっぽんど真ん中祭り」が開かれていますので勝手に真ん中だと思っています。)で開催される東海大会でお会いできることを、心より願っていて、あいさつさせていただきます。

平成26年9月

第26回 日本複写産業協同組合連合会東海大会 実行委員長 田本芳樹

当日のタイムスケジュール

Table with time slots and activities: 14:00 受付開始, 14:30 東海大会開会, 15:00 各地区現況報告, 16:15 閉会, 休憩15分, 16:30~17:30 記念講演, 休憩15分, 17:45~19:45 懇親会

記念講演 演題「事業リデザインの考え方・すずめ方」

Speaker info for 佐々木 史光氏, including a photo and a short bio.

大会概要

と き 2014年 11月 7日 (金) (受付:14:00~)

〈参加費用〉 登録料(大会+懇親会) おひとり様

Table showing fees: 代表者様 25,000円, 同伴者・同行社員様 15,000円

※参加費用(登録料)のお支払い方法につきましては、裏面をご確認ください。

と ころ 名古屋国際ホテル 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目23-3 TEL:052-961-3111 FAX:052-962-5937

〈会場までのアクセス〉

名古屋国際ホテル 中部国際空港より車で約50分 名古屋駅より車で約15分 地下鉄山崎線山崎駅より徒歩約10分

中部国際空港よりお越しの場合

名鉄東海線「空港線」中部国際空港 → 金山駅 → (地下鉄名港線) → 栄駅下車
地下鉄でお越しの場合
名古屋駅より 山崎線が右方面に下車する際は、2つ目の「栄」で下車。乗車時間は約5分です。
金山駅より 名港線が右方面に下車する際は、4つ目の「栄」で下車。乗車時間は約7分です。
「栄」駅南口から6番出口を出て、徒歩で約15分(徒歩)です。
(6番出口は、サンシャイン東さんの駐車場を右折して徒歩)



お車でお越しの場合

東海方面 名古屋国際ホテル → 名古屋東港線心豊橋駅 → 「東海線」を出て「東海線北」を右折し、直進約2分です。
北陸方面 名鉄名古屋線小牧駅 → 名古屋東港線心豊橋駅 → 「東海線」を出て「東海線北」を右折し、直進約2分です。

〈お申し込みのお願い〉
「開会式」は、開会式 → お申し込みのお願い → お申し込みのお願い → お申し込みのお願い
※20:00~7:00の入場は、開会式の受付、お申し込みのお願い